

# 鶴谷地区(南相馬市原町区) 【福島再生加速化交付金(農山村地域復興基盤総合整備事業(農地整備事業))】

## 生産者の声

(株)アグリ鶴谷

大区画化に加えて湿田が解消したことで営農効率がアップした。

幅広畦畔のおかげで除草作業が機械化できた。作業員も高齢化する中、身体的負担が劇的に軽減された。

## ◆地区の目標◆

- 大区画ほ場を整備
- 農地の集約、経営の大規模化
- 幅広畦畔・溝畔、用水のパイプライン化で、より一層の作業省力化を進め、持続可能な農業経営を目指す。



## ◇事業の概要◇

- 事業工期 平成30年度～令和7年度
- 総事業費 31.3億円
- 受益面積 82.9ha
- 主要工事
 

整地工	A=82.9ha
(区画整理) 暗渠排水工	A=74.8ha
用水路工(パイプライン)	L=15.8km
排水路工	L=26.6km
道路工	L=24.6km

## 事業の実施前

## 農地、農道が狭小／用排水路未整備／

- 地区内の平場は標準区画 30aであったが、沢状の地域では狭小な農地が残存している。
- 農道が砂利道で狭小  
作業効率が悪く大型機械の導入が進まない。農
- 原発災害の20km圏内で、地域営農の立て直しが困難。

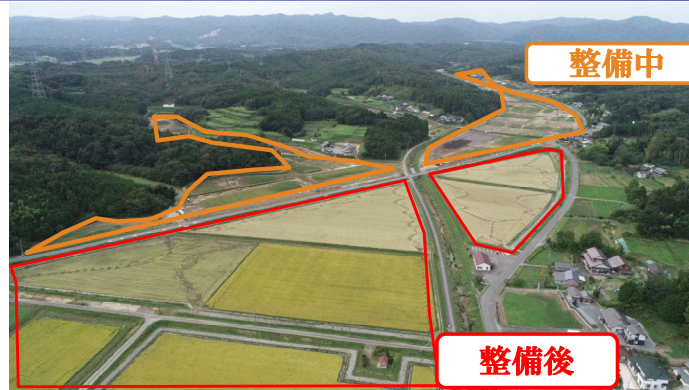


整備前の農地

## 事業の内容

## ほ場の大区画化／用水路のパイプライン化、幅広畦・溝畔による省力化

- ほ場の大区画化  
標準区画を100m×140mで整備  
幅広畦畔・溝畔の整備  
→他の事業地区への広がり
- 農道の整備  
4m/5mに拡幅し砂利舗装で整備
- 用水路のパイプライン化と併せて、パイプラインの水源をダム掛かりのため池1箇所  
に集約し、水源施設の管理を省力化。



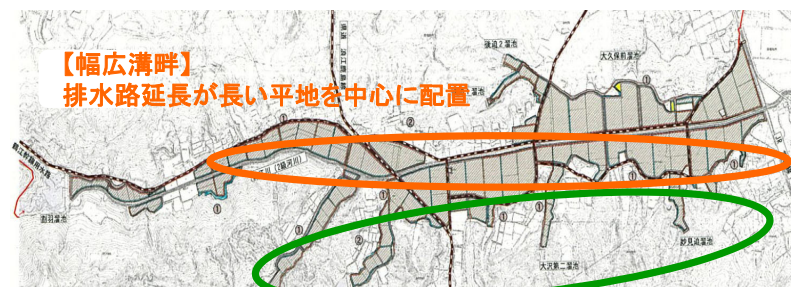
整備中

整備後

## 事業の効果

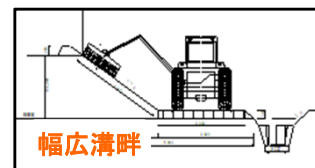
## 農業法人の設立と集積促進／営農の効率化／管理作業の省力化

- ほ場整備を契機として、農業法人1社が設立。ほか既存1法人との2者で約7割の面的集積((株)アグリ鶴谷,(有)高ライスセンター)
- 麦・大豆・米のブロックテーションを実施(R5:約8ha)。整備完了後に2法人が全域で実施予定。
- 用水路の管水路化、排水路の整備により、水管理の維持管理労力の軽減が図られている。
- 幅広畦畔・耕畔(幅3m)の整備により、草刈りを機械で実施し、維持管理労力の軽減が図られている。  
(従来:4時間/ha→整備後:1時間/haに短縮)

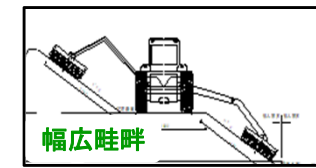


【幅広溝畔】排水路延長が長い平地を中心に配置

【幅広畦畔】田差が大きい沢部・外縁部を中心に配置



幅広溝畔



幅広畦畔